

サボウフウは決してイヌトウキの変種でもなく、まして同種などと言うことは全く考えられない。*A. Yoshinagae* Makino, *A. saxicola* Makino および *A. shikokiana* Makino の各成分の出現関係は図 2. の如く考えられる。

このことにより *A. Yoshinagae* と *A. shikokiana* との関係はあまり密接なものでなく、むしろ系統的にはかなりかけはなれた祖型にさかのぼる相互関係に過ぎない。その関係は多分図 3. のようなものであろう。



図 3. Phylogenetic relationship among *A. Yoshinagae*, *A. saxicola* and *A. shikokiana*.

Summary

The author discussed the phylogenetic relation of *Angelica Yoshinagae* Makino and *A. shikokiana* Makino from the view-point of chemical constituents. *A. Yoshinagae* containing angelicin, orosclol and calcicolin is neither the synonym nor the variety of *A. shikokiana* which seems to contain khel-lactone. These two species are not so close in phylogeny and the relationship may be shown as Fig. 3.

文 献

- 1) 藤田, 植研 **38**: 244 (1963). 2) Hara, Enum. SpERM. Jap. **3**: 298 (1954).
- 3) Hiroe, Constance, Umbell. Jap.: 113 (1958). 4) Murata, Acta Phytotax. Geobot. **18**: 27 (1959). 5) Kitagawa, Bull. Nat. Sci. Mus. (Tokyo) **46**: 8 (1960); 植研 **36**: 272 (1961). 6) 中林, 津野, 中村, 日化会第 7 回香料, テルペン及び精油化学討論会講演要旨集: 151 (1963. 10). 7) Späth, Gruber, Matzke, Can. J. Chem. **31**: 715 (1953).

□佐竹義輔: 植物の分類 単色写真 119, 380頁, 1964. 第一法規出版株式会社 1800円。多年の経験により編集された顕花植物の分類通論で, 各科属の分類表, 植物学用語, 用語の図解, 和名, 人名索引がついている。用語図解は 24 頁にわたり, 記載文に現われる用語の理解に便利であって, 初学者にはきわめて重宝である。分類学を講義するものにも, 聞く学生にも有用であり, 長い間待望されていた本である。 (久内清孝)